



本物との出会い

校長 野田 恵美

10月23日の運動会では、保護者や地域の皆様はじめ、多くの方に足を運んでいただき、ありがとうございました。演技や競技に一生懸命に取り組む子供たちの姿を見て、「よい運動会でしたよ」「真剣さに涙が出ました」など、温かい声をいただきました。教職員も限られた練習時間の中で、子供たちと共に工夫しながらつくり上げましたので、皆様からの応援の声に大変励まされております。

さて、今年度はアジア・アジアパラ競技大会の輸送・搬送の影響もあり、修学旅行や林間学校、社会見学が2学期の後半に計画されています。また、キャリア教育と音楽鑑賞を兼ねて、ピアノ調律師とプロピアニスト（本校卒業生）を招いての出前授業、地域学習の「棒の手」の出前授業なども予定されています。改めて思うのは「本物と出会うということは何物にも勝る」ということです。



実際に現地に行って、目の前にある建造物や大仏の大きさや荘厳な雰囲気を感じること。自然の中で炉に火をおこして米を炊いたり、仲間と共にキャンプファイヤーの周りに集まったりして火の温かさ、ありがたさを実感すること。社会見学では、授業で学んだことを実際に見たり、聞いたりすることで、学びが一層深まります。ピアノについては、昨年も同様の出前授業を行いました。調律師さんがピアノをてきぱきと分解し、点検・調律を行う様子を見た子供たちからは、思わず感嘆の声があがりました。また、そうした仕事をする方々のもっと、素晴らしい演奏が成り立つこと、いずれも日々努力を重ねて身に付けた技術であること、今なお、その技術を磨き続けていることなどを知り、心から感動していました。どうして今の職業に就いたのか、などの質問もご本人から答えていただく事ができました。

講師を招くものばかりではなく、給食センターに校外学習に行く前に、栄養教諭や給食配膳員の方から話を聞く活動もあります。いずれも「本物との出会い」になります。

こうした体験は、自分がどんな大人になり、どんな仕事に就くかを考えるととてもよいきっかけとなると思います。実際に活動中の子供たちの様子を見てみると、いずれも目は輝き、自然に笑顔になっています。これからも「本物との出会い」を学習活動に組み入れていくことで、子供たちが視野を広げ、自分の好きなことや得意なことを増やすヒントになってくれたら、と願っています。

【保護者のみなさまへ お知らせ】

◆ 学校保健委員会 めざせ！けがゼロボディ～知って 動いて 身につけよう 自分の体を守る力～

11月20日の6時間目に、学校保健委員会が開かれます。5・6年生の児童と城山小保護者の方が対象です。

今年は本校の保健師を招いての講話と運動指導員による体幹トレーニングを行う予定です。丈夫な体をつくるための生活習慣や自分に必要な体幹トレーニングについて学び、日常生活や運動の中で、体を守る力を身につけることをねらいとしています。

11月6日までに参加申し込み書（お子さんを通じて配布済）にご記入の上、担任にご提出ください。

